

前期課程

野外活動で学んだこと

五年A組 伊藤 珠里

私が野外活動で学んだことは主に二つあります。一つ目は、普段会話をしない仲間とも協力し合うことです。私は、仲の良い友達と部屋の班しか一緒にではなく不安でした。でも、ウォークラリーや砂の造形で普段会話をしない人と活動することで、その人たちのよさや知らない一面を知ることができました。このように、普段会話をしない仲間とも協力し合うことが大切だと思いました。

二つ目は、何事も最初は自分で調べるといことです。野外活動では、自立することが目的なので自分のことは自分でやるのが当然でした。私は日頃、物をなくすことが多いです。だから、野外活動の時は特に気を付けました。どこに何があるかを自分で確認することで、なくしものはありませんでした。このように自分のことは自分でやる大切さ、そして難しさを学びました。これらのことを普段の学校生活で生かしていきたいです。



野外活動を通して

五年A組 宮本 結斗

私が野外活動を通して考えたことは二つあります。一つ目は、友達との関係です。ほくは元々、あまり知らない子とはかわりが少なかつたけど、野外活動と一緒に色々な事に取り組めば、相手のよいところが分かって、仲良くなれることを知りました。

二つ目は、協力し合って何かをやりとげた時のうれしさです。ほくは野外活動の前は、自分一人だけでやろうとしたり、すぐに先生に聞いたりしていました。だけど野外活動で協力し合って砂の造形やウォークラリーをクリアした時の達成感を感じました。

野外活動を通してたくさんのことを知ったり、友達のよさをたくさん見つけたりすることができました。これからは、みんなと協力しながら仲良くなっていこうと思います。



野外活動を通じて学んだこと

五年B組 石田 麻衣

わたしが野外活動で心に残ったことは二つあります。一つ目は、砂の造形です。砂を

掘って、かためてカメの形を作りました。とくにカメのこうらを丸くすることをがんばりました。また、目立つように、まわりに石をならべました。きれいに作るのは大変だったけれど、うまく作ることでできたので良かったです。

二つ目は、野外炊飯です。わたしは、野菜を切る係でした。野菜のかたさ、切り方を工夫しました。一番難しかったことは、大きさをそろえることです。みんなが食べやすく、かたくならない大きさに切らないといけないからです。完成したカレーライスは、みんな協力して作ったのでいつもよりおいしく感じました。

普段、話す人、話さない人関係なく、みんなと協力し合って過ごせた野外活動だと思えました。この経験を活かして、これから協力して助け合えるような学校生活にしていきたいです。



野外活動の思い出

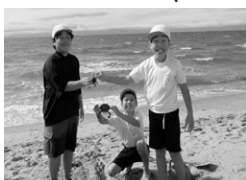
五年B組 渡邊 大河

ほくは野外活動で、二つの思い出があります。一つ目は砂の造形です。砂の造形とは、砂浜にある砂を使って、一つの作品をグループ全員で協力してつくる活動です。ほくたちの

班では、「エイ」を作ることにしました。班全員で分担してエイを作りました。エイを完成させるという目標を全員で達成できるともうれしかったです。

二つ目はキャンプファイヤーでやったスタンプです。ほくたちは「コント」をやりました。コントをやる前はともきんちようして、すべってしまわないか心配でした。でも思いきってやってみたら、みんなが笑ってくれて、「自分には人を笑顔にする力があるんだな」と実感しました。

こうして、ほくは野外活動で、周りの人々と協力することの大切さを学びました。そして、「協力したらなんでもできる」ということが分かったので、これからの学校生活では協力することを意識していきたいです。



後期課程

利用者のための工夫

七年A組 伊藤 愛依子

私は飛鳥村図書館での職場体験を通して、たくさんの方を学びました。職場体験での大きな発見



は、「利用者通知」というシステムがあることでした。これは、利用者ごとに「前回カード無しで借りた」や「レシートの小さな文字が読みづらいので、裏に大きく書く」といった情報を記録し、カウンタースタッフが誰でも適切な対応をできるようにするものです。この仕組みを知って、図書館がどれだけ利用者に配慮しているかを実感しました。

また、カウンター業務を通して、利用者が快適に過ごせるように、行動の一つ一つに工夫があることを学びました。例えば、説明を丁寧に添えることや、終始笑顔で挨拶を忘れないことなどがありました。これらの細かい配慮が、利用者にとって大切なことだと感じました。



職場体験学習で学んだこと

七年A組 横井 花梨

職場体験学習で学んだことは、保育所の先生方の大変さです。初日は年中クラスに入りました。まず朝に体操をしました。ボールを転がしたり、雲梯をする時に子どもたちの補助をしたりしました。体操が終わった後には、読み聞かせをしました。初めて子どもたち

に読み聞かせをするので、緊張しました。二日目には、年長クラスに入りました。年長クラスでは、発表会の練習や劇を行いました。発表会の練習では、先生方が子どもたち一人一人に台詞などを教えていて、その姿を見て、改めて先生方の大変さが分かりました。

この職場体験学習を通して、笑顔が大切だということや、子どもたちの目線に合わせて寄り添うことの重要性を学びました。



働いて学んだこと

七年B組 川内 琴葉

職場体験を通じて、コミュニケーションの大切さや、基本的な用意、接客の流れなどを学びました。

お客様から注文を取るときは、なるべく大きく伝票に書くことが大切だと感じました。また、もし書いている途中でわからなくなつた場合、「もう一度お願いします」としっかりと伝えることが重要だと学びました。最初は不安でしたが、慣れていくうちにお客様とのコミュニケーションが取れるようになり、少しずつ自信がもてるようになりました。

次に、用意について学んだことです。朝はホットコーヒーとゆで卵をよく頼まれるので、基本的にはお盆、スプーン、ゆで卵、ミルク、ペーパーナプキンを準備することが大切だと教わりました。他の料理でも、基本的に必要なものをあらかじめしっかりと準備しておくことが大切だと学びました。



人を思う気持ちの大切さ

七年B組 小坂井 杏莉

職場体験を通して学んだことは、「人を思う気持ち」の大切さです。接客のときには緊張して声がうまく出ませんでした。お店の方が「習うより慣れる」と言ってくれて、少しずつ頑張ろうと思うようになり、うなぎを焼いている時に何を考えているのか質問したところ、すべて「お客様」のことを考えていると教えていただきました。お客様に喜んでほしいという思いが強く伝わり、私もその気持ちを大切にしたいと思いました。

接客の際には、「笑顔で、目を見て、はっきりと話す」ことが大切だと教わりました。お店の方々は、常にお客様の笑顔を見たいと思つて努力していて、私もその姿勢を見習いたいと感じました。この三日間の体験を通して、私は「人を思う気持ち」の大切さを学びました。これからは人に対して思いやりをもちながら、成長していきたいと思つています。



飛島学園

1月の行事予定

- 7日(火) 3学期始業式
- 8日(水) 給食開始
- 8日(水)~10日(金) 9年三者懇談
- 16日(木) 5・6・7年英検Jr・IBA受験 委員会
- 21日(火) 減農薬野菜給食
- 23日(木) クラブ